

令和4年度（2022年度）

金沢大学法科大学院

入学試験問題

憲 法

B日程入試

（注意）

1. 問題冊子（表紙を含む）は2枚です。
2. 問題冊子は指示があるまで開かないで下さい。
3. 問題冊子と下書き用紙は持ち帰って下さい。
4. 解答は、鉛筆、シャープペンシル、ペン、ボールペンのいずれで記入しても構いません。
5. 解答にあたっては、どの問題から解答しても構いません。ただし、どの問題についての解答であるのかを答案中に明示してください。

## 令和4年度（2022年度）金沢大学法科大学院入学試験問題

試験科目	憲	法
------	---	---

以下の問題について解答しなさい。

### 問題1（20点）

次の事例を読み、[問い]に答えなさい。

A村には、昔から入会地として村民が山菜やキノコを採取してきた山があった。古来よりこの山はA村での信仰の対象ともなっており、みだりに山に入ると山の神様が怒って山が崩れるという言い伝えがある。そして、山に入ることが許されるのは、山の神をまつる神社のその年の祭礼において、ふんどし一丁の裸姿でたいまつを掲げて村内を練り歩く伝統神事に参加した男衆のみとされているため、山菜やキノコを採取する入会権を行使できるのは、男性のみとなる。

ところで、A村に居住するB一家は、代々当主またはその息子がこの祭りに参加し、入会権を行使してきたが、201×年に男子のないまま当主が亡くなり、B家の構成員は妻と娘Cのみとなった。Cは、山で取れる山菜やキノコは幼いころから慣れ親しんだ食材であるため、今後もこれらを食べたいと望み、採取のため山に入りたいと望んだ。しかしA村の男衆らは、神事に参加しない女子の入山は認められないとの一点張りで、Cの入山を禁止した。Cは女子の入山を認めず入会権の行使を認めないのは男女差別ではないかと考えて、訴訟を起こしたいと考えている。

[問い]

上記事例において、Cに対する入会権行使の禁止は、憲法上どう評価されるか。関連する判例を踏まえつつ、論じなさい。

### 問題2（5点）

憲法の最高法規性について、説明しなさい。